

事務事業名	つどいの広場いづか管理事業	事務事業No.	341 - 3
-------	---------------	---------	---------

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
福祉部	子育て支援課	子育て支援・政策係	主任	谷 清明	課長	斎藤 浩
施策体系	総合計画	政策	3	健康・子育て		
		施策	4	子育て支援の推進		
		基本事業	1	子育て支援の推進		
	その他の計画	個別計画	なし			
根拠法令・条例・要綱等	なし					
事業開始年度	2003年度	事業終了年度	未定	事務事業類型	施設維持管理事業	
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし	実施計画期間	なし	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要	(合併前の飯塚市の幼稚園統廃合の実施に伴い、空きスペースとなった旧幼稚園の園舎及び敷地を利用して) 子育て支援に関する団体・個人が、無料で利用できる子育て支援拠点施設として、施設の維持管理を行政、運営を子育て支援のボランティア団体が行う形態をとり、官民協働で「つどいの広場いづか」を開設している。					
対象	働きかける相手・もの	つどいの広場いづか				
手段	方法・働きかけ(活動指標)	子育て支援のボランティア団体に運営をさせるとともに、行政が安全で快適に利用できるよう適切な維持管理を行う				
意図	対象をどのようにしたいか(成果指標)	多くの子育て支援に関する団体・個人が有効活用できるようにする				

3. 活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明(算式等)	前年度実績	本年度実績	次年度見込
開所日数	日	広場開所日数	335	351	330
施設維持管理の実施	回	浄化槽保守点検・樹木管理・消防設備点検の実施回数	3	3	3

4. 成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
年間利用者数	人	10,000	10,000	10,000	10,000
説明	方向性	達成目標年度	実績	9,373	9,067
	維持	毎年度	達成率	93.73%	90.67%
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	経常経費	特別会計	-	
予算科目・事業	会計	1 一般会計	款	3 民生費	
		大	4 社会福祉施設管理運営事業費	中	
			6 つどいの広場管理費	目	
				1 社会福祉総務費	
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	0.20 人 1,640	0.14 人 1,094		0.15 人 1,172
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級フル	0.05 人 146	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
人件費計(A)		1,786	1,094		1,172
事業費	直接事業費(B)	1,576	1,788		5,252
	総事業費(A+B)	3,362	2,882		6,424
直接事業費のうち の主な歳出内訳	需用費	918	1,104		1,159
	委託料	623	764		561
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	0	0		0
	国・県支出金	0	0		0
	市債	0	0		0
	一般財源	3,361	2,882		6,424
	その他()	1	0		0

6. 事務事業の事後評価★

評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	行政として地域の子育て支援拠点施設の管理は必要。施設管理は行政、運営は子育て支援のNPO法人と協働のかたちで実施している。
	目的の妥当性	妥当	行政として地域の子育て支援拠点施設の管理は必要
	対象(受益者)の妥当性	妥当	子育て支援に関する団体・個人は無料で利用でき、開所している時間で団体等の利用がなければ自由に利用できるため。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地なし	施設管理にかかる、必要最低限の予算を計上しており、運営はNPO法人が行っているため省力化はできない。
	負担割合の適正化	適正	子育て中の市民が気軽に利用できるように、受益者負担は取っていない。
	手段の最適性	最適	就学前であれば子育て支援センターがあるが、運営を委託で実施している。つどいの広場は、市が施設を無償で開放し、0歳から18歳までの児童・青少年に対する支援をNPOが自主的に運営しているものである。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響により目標の数値には達していないため未達成としたものの、昨年度と同様、一定数の利用はある。
	上位施策への貢献度	貢献できた	NPO参加団体のみではなく、地域住民や一般の方の利用もある。
	事業継続の有効性	ある	子育て支援拠点施設として必要である。

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	必要に応じて、施設内の清掃・除草作業等を実施し、環境整備に努める。
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	老朽化した建物や遊具の改修、樹木の伐採等を実施することにより、施設の維持管理に努める。

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

屋上の清掃や駐車場の樹木伐採、排水路の整備工事を実施することにより、施設の適切な維持管理を行った。

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

成 運営をボランティア団体、施設管理を行政が行うという協働のかたちで、地域の子育て支援拠点施設として旧幼稚園跡地の有効活用が
果 継続して実施できている。

【課題】 施設の老朽化のため、遊具も含め、安全で快適な環境が損なわれないよう、また、隣接する民地に迷惑をかけないよう、今後も施設の維持補修に務めていく必要がある。運営については、利用者に偏りがあり、本事業がそもそも市が実施すべき事業なのか、施設の無償貸与による自主運営ができないかなど検討が必要。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	拡充				評価区分	事務事業の方向性	
	現状維持	④	②	①			
	縮小				一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	
	休・廃止				二次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	
		⑦					
		休・廃止	縮小	現状維持	拡充		
		コスト投入の方向性					

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策 必要に応じて、施設内の清掃・除草作業等を実施し、環境整備に努める。

コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策 R5年度は、遊具の設置工事を行う。その後は、屋上の清掃、樹木の伐採等を実施することにより、施設の維持管理に努める。

評価変更理由 一次評価のとおりとする。ただし、施設の移転を検討することを条件とする。